



ORCHESTRA HOLDINGS

2021年12月期 通期業績予想の修正

補足説明資料

2021年12月期 通期業績予想の修正



DX事業、デジタルマーケティング事業、両事業ともに好調により通期業績予想を上方修正

- ◆ **デジタルトランスフォーメーション（DX）事業**：注力するSalesforce案件の受注が好調に推移している事に加え、採用・教育活動についても順調に進んだことから、早期に開発体制を強化することができ、想定よりも利益率が改善。
- ◆ **デジタルマーケティング事業**：既存顧客への追加提案、新規顧客開拓が順調に進み、当初の想定を上回る勢いで受注が堅調に推移。
- ◆ 大幅増益により、新株予約権の業績条件達成見込み。これに伴い発生する株式報酬費用計上後の営業利益は11.3億円の見通し。(※)
- ◆ **株式報酬費用計上前の実態の営業利益は、当初予算比44.8%増、前期比77.0%増の12.5億円となる見通し。**

	2021年 12月期 (単位：百万円) (今回修正予想)	2021年 12月期 (前回予想)	前回予想比増減		2020年 12月期 (前期実績)	前期比増減	
			(金額)	(増減率)		(金額)	(増減率)
売上高	15,620	14,200	1,420	10.0%	11,825	3,794	32.1%
参考：株式報酬費用計上前 営業利益	1,259	870	389	44.8%	711	548	77.0%
営業利益	1,131	870	261	30.0%	686	444	64.8%
経常利益	1,124	865	259	30.0%	683	441	64.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	702	540	162	30.0%	435	266	61.2%

※株式報酬費用について

業績連動型新株予約権(2019年5月30日発行)の行使条件である連結営業利益10億円(※2)を達成する見込みのため、株式報酬費用として、約1.2億円を第3四半期に計上予定。

株式報酬費用は金銭の支出を伴わない一過性の費用であり、各事業の収益性、成長性に影響はない。

※2 ただし、当該業績連動型新株予約権にかかる株式報酬費用を除いた額

Vision

創造の連鎖

- 事業を通じて創造の志士を輩出し続ける -



ORCHESTRA HOLDINGS

将来の見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報はいわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。